

あの質問 その後どうなった!?

Q 脱炭素社会へと進んでいるが、組織の改編や充実に取り組む必要があるのではないか。

みんちやい105号より(令和4年3月定例会)

その時の答え

令和4年度は、津山市環境政策推進本部から津山市脱炭素社会推進本部へと改組し、構成員の増強や部会の新設などにより強化を図りたい。

その後の状況

令和4年4月に、全庁的かつ組織横断的な推進体制として、副市長を本部長とする「津山市脱炭素社会推進本部」を設置しました。令和4年度は、公共施設への再生可能エネルギーの導入や食品ロス削減に向けた取組等について検討を行ったほか、中国四国地方環境事務所から職員を招聘し、職員研修を実施しました。

請願が実現しました

休院中の倭文診療所が開院

休院中だった倭文診療所が令和5年4月に再開しました。

令和4年6月に、早期再開の請願が地域から議会に届けられており、議会で採択されていました。



市議会では、市民の皆さまの市政に関する意見や要望を「請願」として受け付けています

請願の方法

- 1 A4サイズの下紙に、①件名 ②請願趣旨 ③請願理由 ④提出者の住所・氏名(署名又は記名押印)を記載した請願書を準備してください
- 2 請願書に1名以上の紹介議員から署名又は記名押印をもらってください
- 3 議会事務局(津山市役所議会棟3階)に提出してください



提出方法はホームページでも確認できます

※提出された請願は採択か不採択かを決定します。

採択されたものに関して、法的拘束力があるものではありませんが、議会としては願意の実現に向けて努力する必要があります。

※ご不明な点がございましたら議会事務局(0868-32-2140)へお問合せください

特別委員会がこれまでの取組の報告を行いました



↑報告の様子はこちら

3月定例会では、津山市議会に設置している3つの各特別委員会(*)からこれまで2年間の取組についての報告が行われました。

広報調査特別委員会

主な取組

- 議会の広報紙「みんちやい」の発行(計8号)
- みんちやいクイズの回答をインターネットでも募集を開始
- 議会のユーチューブチャンネルをリニューアルし、議会の日程のお知らせ動画や議員が出演し、議会の広報紙の記事の一部を動画として紹介するギカイラジオを配信



↑広報動画はこちら



タブレット端末を利用した動画撮影の様子

議会活性化調査特別委員会

主な取組

- 議員が市民のもとへ赴く出前形式の懇談会を開催
- タブレット端末及び文書共有システムやビジネスチャットツールの導入による議会活動の活性化・DXを推進
- 委員会条例を改正し、災害時等の際にオンラインでの委員会が開催可能となり、実用演習を実施
- 議員報酬の特例に関する調査・研究などの実施



オンライン委員会実用演習の様子

高等教育機関のあり方調査特別委員会

※調査終了により3月定例会で廃止の議決がされました

主な取組

- 美作大学、津山工業高等専門学校、津山中央看護専門学校の現状把握、意見交換を実施
- みらい戦略ディレクターによる勉強会を実施し、地方大学の知的ブランド力の充実や、大学経営の安定化の視点について、先進事例を聴取
- 文部科学省高等教育局職員から、地方私立大学の国内の状況を聴取
- 周南公立大学(山口県)への行政視察を実施し、旧徳山大学の公立化に至る経緯や、将来的な収支見通し、新たな学部・学科の新設の状況などを聴取



津山工業高等専門学校との意見交換の様子

*特別委員会…常任委員会の他に特定の問題について議論するために設置される委員会です。